



2025年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2024年10月24日

上場会社名 SBIグローバルアセットマネジメント株式会社
コード番号 4765 URL <http://www.sbiglobalam.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 朝倉 智也

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CFO

(氏名) 小笠原 靖行

TEL 03-6229-0812

半期報告書提出予定日 2024年11月5日

配当支払開始予定日 2024年12月2日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト・機関投資家向け、当社ウェブサイトにて動画開示予定

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日～2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	5,738	15.0	1,218	8.1	1,424	4.5	900	4.9
2024年3月期中間期	4,989	22.3	1,127	10.3	1,363	10.5	858	18.3

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 845百万円 (35.6%) 2024年3月期中間期 623百万円 (16.5%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	10.04	
2024年3月期中間期	9.58	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期中間期	18,541	15,789	84.3	174.33
2024年3月期	18,625	16,110	85.7	178.03

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 15,632百万円 2024年3月期 15,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		8.50		13.00	21.50
2025年3月期(予想)		8.75			

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年3月期の期末配当予想額は、現時点で未定であります。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

業績予想につきましては、現時点では未定であります。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) - 、 除外 社 (社名) -

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期中間期	89,673,600 株	2024年3月期	89,673,600 株
-------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2025年3月期中間期	125 株	2024年3月期	120 株
-------------	-------	----------	-------

期中平均株式数 (中間期)

2025年3月期中間期	89,673,479 株	2024年3月期中間期	89,673,480 株
-------------	--------------	-------------	--------------

第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(2025年3月期の配当予想)

2025年3月期の期末配当予想は未定であります。今後の業績等を総合的に勘案して、1株当たり配当を決定次第開示いたします。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2024年10月24日にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この説明会の動画は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
3. その他	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2024年4月1日～2024年9月30日)は、世界的に景気減速が意識され、欧米等各国においては利下げ傾向が定着する中、主要国の中では日本のみが利上げを行うというアンバランスな状況となりました。このような中で、8月5日には日経平均株価が大幅に急落し、また、7月～8月にかけての1ヶ月でドル円相場が20円近い振れ幅を記録する等、総じて不安定なマーケット環境ではありましたが、当社の連結業績は、売上および全ての利益項目におきまして、中間連結会計期間として過去最高を更新いたしました。

アセットマネジメント事業におきましては、主要子会社であるS B Iアセットマネジメント株式会社では、四半期決算型の公募のアクティブファンドを積極的に投入し、商品ラインナップを拡充したこと等が奏功し、公募アクティブファンドの運用残高が前中間期末(2023年9月末)に比べて73.5%増加いたしました。また、公募インデックスファンドにつきましても引き続き良質かつ低コストの商品の運用残高が堅調に推移する等、グループ全体での運用残高の総合計は前年同期末比26.6%増加の6.4兆円にまで成長いたしました。また、それに伴い、運用残高増加に伴う運用報酬(信託報酬)も増加いたしました。その結果、アセットマネジメント事業の売上高は前中間連結会計期間(2023年4月1日～2023年9月30日)より19.8%増収の4,767百万円となりました。

ファイナンシャル・サービス事業においては、地域金融機関と共同で実施する各地域の資産運用フェアは、S B Iグループの地方創生事業の一翼を担うものと位置付けており、イベントの開催件数が前年同期比10倍になるなど、新NISA開始後で一層高まる資産運用ニーズを捉えた施策が好調に推移する一方、販売金融機関向けのオンラインコンテンツが、一部大口顧客における投信等の窓販戦略の変化による解約、また株式関連情報の売上も減少したことにより、ファイナンシャル・サービス事業の売上高は前年同期比で3.8%減少し、970百万円となりました。

この結果、当中間連結会計期間の連結業績は、売上高が前年同期の4,989百万円から15.0%の増収となる5,738百万円となりました。

また、売上原価は、前年同期の2,385百万円から17.8%増加の2,809百万円となり、販売費及び一般管理費は、前年同期の1,476百万円から15.9%増加し、1,710百万円となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の営業利益は、前年同期の1,127百万円から8.1%の増益となる1,218百万円となり、営業外損益は、前年同期に比べて純額で29百万円減少し、当中間連結会計期間の経常利益は、前年同期の1,363百万円から4.5%の増益となる1,424百万円となりました。

上記の結果、当中間連結会計期間の親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期の858百万円から4.9%の増益となる900百万円となり、連結売上高及び全ての中間利益項目で過去最高の数値を達成いたしました。

[業績の概要]

	2024年3月期中間 連結会計期間		2025年3月期中間 連結会計期間		増減	
	金額(千円)	利益率	金額(千円)	利益率	金額(千円)	比率
売上高	4,989,126		5,738,581		749,455	15.0%
営業利益	1,127,724	22.6%	1,218,578	21.2%	90,853	8.1%
経常利益	1,363,383	27.3%	1,424,929	24.8%	61,546	4.5%
親会社株主に帰属 する中間純利益	858,681	17.2%	900,600	15.7%	41,919	4.9%

連結売上高は中間連結会計期間として、13期連続の増収、8期連続で過去最高の売上高を更新しました。

営業利益は中間連結会計期間として、5期連続の増益、4期連続の過去最高益を記録しました。

経常利益は中間連結会計期間として、15期連続の増益、13期連続の過去最高益を記録しました。

親会社株主に帰属する中間純利益は中間連結会計期間として、15期連続の増益、10期連続の過去最高益を記録しました。

セグメント別売上高、サービス別売上高は、以下のとおりであります。

セグメント別売上高	前中間連結会計期間 2023年4月1日から 2023年9月30日まで		当中間連結会計期間 2024年4月1日から 2024年9月30日まで		増加率 (%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
アセットマネジメント事業	3,979,691	79.8	4,767,779	83.1	19.8
ファイナンシャル・サービス事業	1,009,434	20.2	970,802	16.9	△3.8
連結売上高	4,989,126	100.00	5,738,581	100.0	15.0

1) アセットマネジメント事業

アセットマネジメント事業の子会社3社の運用残高(投資助言残高を含む)は、前年同期末(2023年9月末)の5.1兆円から当中間連結会計期間末(2024年9月末)は6.4兆円と26.6%増加いたしました。運用残高の拡大に伴い運用報酬(信託報酬)が増加したことにより、当事業の当中間連結会計期間の売上高は、前年同期の3,979百万円から19.8%の増収となる4,767百万円となりました。また、セグメント利益は、前年同期の833百万円から26.0%の増益となる1,050百万円となりました。

2) ファイナンシャル・サービス事業

ウェルスアドバイザー株式会社においては、地域銀行等と共同で開催する資産運用関連セミナー(フェア)が顕著な伸びを示し、前年同期比10倍というハイペースでの実施となりました。また、投資信託の販売金融機関が活用する「Wealth Advisor」については、提供端末台数は堅調に推移し前年同期末の115,943台から372台増加し116,315台となり、運用関連のツールの利用先の拡大はあったものの、一部大口顧客の窓販戦略の変更の影響を受ける結果となりました。また、株式関連情報の減少等もあり、当セグメントの当中間連結会計期間の売上高は、前年同期の1,009百万円から3.8%の減収となる970百万円となり、セグメント利益は、前年同期の293百万円から42.8%の減益となる168百万円となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末と比較して83百万円減少し、18,541百万円となりました。これは、流動資産が20百万円減少し、固定資産が61百万円減少したことによるものであります。流動資産の減少は、主として現金及び預金の減少427百万円、売掛金の増加501百万円、投資有価証券償還の未決済代金の入金に係る未収入金の減少146百万円によるものです。現金及び預金の減少は、主として税金等調整前中間純利益1,424百万円の計上と、配当金1,165百万円及び納税372百万円による支出であります。固定資産の減少は、主として投資有価証券(投資信託)の基準価額の下落によるものであります。

当中間連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末と比較して237百万円増加し、2,752百万円となりました。これは主として、未払金の増加173百万円、未払法人税等の増加69百万円によるものです。

当中間連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末と比較して320百万円減少し、15,789百万円となりました。これは主として、当中間連結会計期間に900百万円の親会社株主に帰属する中間純利益が計上され、1,165百万円の配当を行なった結果、利益剰余金が265百万円減少したこと、また、投資有価証券(投資信託)の基準価額の下落ならびに為替レートの変動に伴い、その他の包括利益累計額合計が純額で66百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ427百万円減少し、3,210百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは712百万円の収入(前年同期は7,535百万円の収入)となりました。これは、主として、税金等調整前中間純利益1,424百万円の計上、売上債権の増加445百万円、法人税等の支払372百万円によるものであります。なお、前年同期の収入額に関しては、「モーニングスター」ライセンス返還等の未収入金の回収9,296百万円の臨時収入が含まれた金額となっております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは36百万円の収入(前年同期は4,702百万円の支出)となりました。これは、主として、投資有価証券の売却・償還445百万円による収入及び新規取得に係る支出339百万円、無形固定資産の取得による支出71百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは1,196百万円の支出(前年同期は1,358百万円の支出)となりました。これは、主として、配当金の支払額1,165百万円、リース債務の返済による支出31百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想につきましては、当社事業と関連性の高い金融市場の動向を当期を通じて想定するのは難しく、故に当社グループの業績を合理的な算定で行うことが困難であるため、現時点では未定とさせていただきます。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,637,848	3,210,288
売掛金	2,273,701	2,775,695
棚卸資産	3,698	2,351
未収入金	146,925	-
その他	485,296	538,164
流動資産合計	6,547,470	6,526,499
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	120,696	120,696
減価償却累計額	△46,776	△51,776
建物附属設備(純額)	73,919	68,919
工具、器具及び備品	185,458	189,381
減価償却累計額	△161,900	△166,951
工具、器具及び備品(純額)	23,557	22,430
使用権資産	216,568	213,448
有形固定資産合計	314,046	304,798
無形固定資産		
のれん	1,633,229	1,700,804
ソフトウェア	986,883	924,759
その他	9,124	8,974
無形固定資産合計	2,629,237	2,634,538
投資その他の資産		
投資有価証券	8,712,813	8,552,784
繰延税金資産	294,214	398,120
その他	126,228	124,473
投資その他の資産合計	9,133,256	9,075,377
固定資産合計	12,076,540	12,014,714
繰延資産		
株式交付費	1,632	750
繰延資産合計	1,632	750
資産合計	18,625,643	18,541,964

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,765	22,836
未払金	1,162,069	1,335,336
リース債務	58,881	69,737
未払法人税等	430,601	499,656
未払消費税等	108,637	106,849
その他	578,594	574,168
流動負債合計	2,357,550	2,608,585
固定負債		
リース債務	157,686	143,711
固定負債合計	157,686	143,711
負債合計	2,515,237	2,752,296
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,363,635	3,363,635
資本剰余金	4,528,571	4,528,571
利益剰余金	8,019,263	7,754,109
自己株式	△20	△23
株主資本合計	15,911,449	15,646,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△330,513	△629,971
為替換算調整勘定	383,462	616,320
その他の包括利益累計額合計	52,948	△13,651
非支配株主持分	146,008	157,026
純資産合計	16,110,406	15,789,667
負債純資産合計	18,625,643	18,541,964

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	4,989,126	5,738,581
売上原価	2,385,394	2,809,377
売上総利益	2,603,732	2,929,204
販売費及び一般管理費	1,476,007	1,710,625
営業利益	1,127,724	1,218,578
営業外収益		
受取利息	8,115	69,462
受取配当金	100,078	88,018
投資有価証券売却益	131,942	49,100
その他	1,574	2,343
営業外収益合計	241,710	208,924
営業外費用		
為替差損	49	1,691
株式交付費償却	5,331	882
その他	670	-
営業外費用合計	6,052	2,573
経常利益	1,363,383	1,424,929
特別損失		
投資有価証券評価損	-	522
特別損失合計	-	522
税金等調整前中間純利益	1,363,383	1,424,407
法人税、住民税及び事業税	217,460	482,060
法人税等調整額	264,522	29,650
法人税等合計	481,983	511,710
中間純利益	881,400	912,696
非支配株主に帰属する中間純利益	22,718	12,095
親会社株主に帰属する中間純利益	858,681	900,600

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	881,400	912,696
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△424,973	△300,535
為替換算調整勘定	166,944	232,858
その他の包括利益合計	△258,029	△67,677
中間包括利益	623,370	845,019
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	602,441	834,000
非支配株主に係る中間包括利益	20,929	11,018

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,363,383	1,424,407
減価償却費	155,320	210,324
のれん償却額	51,645	55,400
株式交付費償却	5,331	882
受取利息及び受取配当金	△108,193	△157,480
投資有価証券売却損益(△は益)	△131,942	△49,100
投資有価証券評価損益(△は益)	-	522
為替差損益(△は益)	△562	1,387
売上債権の増減額(△は増加)	△399,414	△445,040
棚卸資産の増減額(△は増加)	18	1,347
仕入債務の増減額(△は減少)	△46,826	4,071
未払金の増減額(△は減少)	139,372	109,562
未収入金の増減額(△は増加)	9,296,964	-
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△164,817	△66,171
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△125,586	△33,583
小計	10,034,693	1,056,528
利息及び配当金の受取額	3,691	9,497
法人税等の支払額	△2,523,959	△372,400
法人税等の還付額	21,222	19,115
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,535,647	712,740
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,558	△2,436
無形固定資産の取得による支出	△136,081	△71,982
投資有価証券の売却による収入	884,947	445,031
投資有価証券の取得による支出	△5,437,007	△339,400
敷金及び保証金の回収による収入	61,725	5,000
敷金及び保証金の差入による支出	△66,918	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,702,893	36,211
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,143,336	△1,165,755
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△189,460	-
自己株式の取得による支出	-	△2
リース債務の返済による支出	△25,399	△31,201
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,358,197	△1,196,959
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,816	20,447
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,492,373	△427,560
現金及び現金同等物の期首残高	2,485,551	3,638,145
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,977,925	3,210,584

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前中間連結会計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整に関する事項	連結財務諸表計上額
	アセットマネジメント事業	ファイナンシャル・サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,979,691	1,009,434	4,989,126	-	4,989,126
セグメント間の内部売上高又は振替高	356	2,298	2,654	△2,654	-
計	3,980,048	1,011,732	4,991,780	△2,654	4,989,126
セグメント利益	833,885	293,839	1,127,724	-	1,127,724

当中間連結会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			差異調整に関する事項	連結財務諸表計上額
	アセットマネジメント事業	ファイナンシャル・サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,767,779	970,802	5,738,581	-	5,738,581
セグメント間の内部売上高又は振替高	367	2,298	2,665	△2,665	-
計	4,768,146	973,100	5,741,246	△2,665	5,738,581
セグメント利益	1,050,416	168,161	1,218,578	-	1,218,578

2. 報告セグメント合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
報告セグメント計	4,991,780	5,741,246
セグメント間取引消去	△2,654	△2,665
中間連結損益計算書の売上高	4,989,126	5,738,581

(単位:千円)

利益	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間
報告セグメント計	1,127,724	1,218,578
セグメント間取引消去	-	-
中間連結損益計算書の営業利益	1,127,724	1,218,578

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

3. その他

2024年10月24日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額……………784,642千円

(ロ) 1株当たりの金額……………8円75銭

(ハ) 支払請求の効力発生予定日及び支払開始予定日……………2024年12月2日

(注) 2024年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。